

# interface

MIYUKI HOSPITAL MAGAZINE

インターフェイスとは「つなぐ部分」のこと。この広報誌も皆様とのつながりのきっかけにしていきたいと考えています

御幸病院広報誌  
【インターフェイス】



2010.  
Summer  
Vol.12

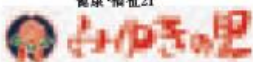


●特集

## ボランティアスタッフを しっかり支える縁の下の力持ち

- みゆきの里夏祭り開催
- ドクターズ コラム ●短期集中連載「リハビリ」
- 和楽ってこんなところ! ●今後の行事予定
- ニュースリリース ●担当医表

健康・福祉21



## ごあいさつ



医療法人 博光会 理事長  
**富島 三貴**  
Miki Tomishima

御幸病院広報誌「インターフェイス」第12号をお届けいたします。  
ボランティア委員会をご紹介します。御幸病院をはじめとするみゆきの里の各施設では、多くのボランティアの皆様が様々なボランティア活動を行っておられます。そういったボランティアの方々をお受け入れする窓口が「みゆきの里ボランティアセンター」です。そのセンター統轄の下、各施設のボランティア委員会がそれぞれに活動を行っています。  
御幸病院緩和ケア病棟(ホスピス)ではボランティアの方々にご登録いただき、共に患者様のQOL向上に寄与していただいております。傾聴や外出のお手伝い、コンサートや動物介在活動等、様々な活動を行っておられます。  
またみゆきの里全体のボランティア登録の方は約200名を超えます。御幸校区社会福祉協議会の皆様をはじめ多くの団体様、また個人の方々など10年以上にわたって、活動を続けてくださっています。  
こうしたボランティアの皆様のお手伝い、ボランティアと施設の間の仲介役を果たすのがボランティア委員会の役目です。御幸病院のボランティア委員会の活動と取り組みの一部をご紹介します。

### みゆきの里グループ

- ◆軽費老人ホーム 富貴苑
- ◆レストラン ビオサルーテ

- ◆ケアハウス ピオニーガーデン
- ◆特別養護老人ホーム みゆき園

- ◆ウェルネススクエア 和楽
- ◆小規模多機能ハウス ほがらか

- ◆介護老人保健施設 ぼたん園
- ◆グループホーム ほがらか

## ●特集

# ボランティアスタッフをしっかりと支える 縁の下の力持ち

## 多くの人々に支えられている、 御幸病院のボランティア

御幸病院には、医療の現場を支えるスタッフの他に、患者様の日常に寄り添いながら様々なお手伝いをしていただいている多くのボランティアスタッフがいらっしやいます。その種類は多岐にわたり、動物を介在した癒しの時間を提供していただく活動や、絵画や写真を展示して、病棟内に彩りを添えていただいたり、あるいは北2病棟で行われる患者様のお誕生会のサポートや、ホスピス病棟での喫茶コーナーのお手伝いなどが、ボランティアの皆様のご善意と熱意で行われています。

御幸病院およびみゆきの里でのボランティアの受け入れは、28年前から。中には20年にも渡って続けている方もおられるほどです。現在、御幸病院だけでも37名、みゆきの里全体では200名を越すボランティアが在籍しています。

みゆきの里ではボランティアの皆様が気持ちよく活動できるようにフォローアップする「ボランティア委員会」を各施設に設置。さらに各施設の代表者で組織される「ボランティアセンター」が、ボランティアの募集やみゆきの里全体のボランティア活動の中核を担っています。

## ボランティア精神でスタッフを支える 「ボランティア委員会」

「御幸病院のボランティアさんは全員エプロンを着用しています。活動されているのを見かけたら、全スタッフがお声掛けをして、困った時などにすぐに相談できる環境を整えています」と御幸病院ボランティア委員会の委員長を務める福原副看護部長。「各病棟などから約15名のボランティア委員を選出していますが、その活動は裏方の仕事がほとんどです。例えば、ボランティア団体などが主体で行なう講話会や演奏会などを患者様のご興味などに合わせてお知らせしたり、その出欠を把握して伝えたり。それらの仕事は表からは見えないけれど、ボランティア活動をスムーズに行なうためには不可欠です。しかも自分の通常業務の合間に行うので、委員の活動自体もボランティアなんですよ」と、その様子を語ってくれました。ボランティア委員会自体も、スタッフ自身の熱意によって支えられているのです。

## M i y u k i n o s a t o



クリスマス会でのトーンチャイム演奏

緩和ケア病棟で活動されるボランティアの方々。  
布切り・綿棒作りから患者様の話し相手、  
喫茶コーナーでのサーブなど、活動内容は様々



## 人と地域との交流を大切に、 ハートフルな取り組み

「ボランティアの方に気持ちよく長く続けていただきたいので、コミュニケーションを大切にしています。毎日のお声掛けや挨拶のほかにも、お誕生日にはカードをお送りしています。また長く続けておられる方が、新しいボランティアさんのサポートをして下さることも多く、ボランティアさん同士のいい関係も保っていきたくいですね」と福原副看護部長。「こういった事をしたいというボランティアさんの希望と施設との橋渡しする、ボランティア・コーディネーターとしての機能も充実させたい」と今後の展望を語ります。

また、毎年秋にはボランティアセンターの主催で、ボランティアの皆様の日頃の感謝の気持ちをこめて「ボランティア交流会」を開催。地域の民生委員や老人会、社会福祉協議会などの方々との懇話会や、食事会での楽しいひとときを提供しています。

さらにボランティア委員会では「皆様からいただいた善意を地域に還元していきたい」と、年4回、御幸校区の清掃活動にも取り組んでいます。御幸病院のボランティア委員会の活動は、地域に向けても今後ますます広がっていきそうです。

## 御幸病院ボランティアセンター からのご挨拶



御幸病院副院長・看護部長  
みゆきの里ボランティアセンター長

奥村 庄子

みゆきの里ボランティアセンターは、平成15年4月1日に立ち上げが行われました。それまでも、みゆきの里の若干の施設には、ボランティア委員会やボランティア担当の職員がおり、活動を希望されるボランティアの皆様への受け入れやフォローを行っていました。現在では、みゆきの里で活動を希望されるボランティアの方は、すべてボランティアセンターで受け入れを行っております。

ボランティアセンターには各施設から一人、職員がセンター員として選ばれ、その施設のボランティア委員会との間の連絡・調整役を担っています。各ボランティア委員会は、それぞれの施設で独自の活動を行っていますが、施設横断的な案件に関しては、ボランティアセンターが方針を決定し、各ボランティア委員会に連携いたします。年1回開催しておりますボランティア交流会等が、そういった案件の例と言えるでしょう。

また、ボランティアの方々に対する講習等も行っております。過去にはホスピスで活動されるボランティアの方々を対象として、御幸病院ホスピスボランティア講座を開催いたしました。外部から講師を招き、ホスピスでボランティア活動が行われる際の心構えや予備知識、参考となる講話等をカリキュラムに加えた講座でした。残念ながら、現在は開催しておりませんが、今後も機会があればボランティアの方々を対象とした講演会等を企画していきたいと考えております。

御幸病院では多くのボランティアの方々活動しておられ、その分野も様々です。自然と、御幸病院のボランティア委員にはそれぞれのボランティアの方々に対する知識と、それに合った対応を求められることが多いでしょう。ボランティアの方々のみならず、ボランティア委員もボランティアに対しての見識を深めてほしいと思います。

将来的には、ボランティアの方々が楽しく、明るい笑顔で様々な活動をされており、活気に満ち溢れている、そんなみゆきの里にしたいと思っています。

今後も、各施設ボランティア委員会及びみゆきの里ボランティアセンターを、どうか宜しくお願い致します。

## 統合医療 —みゆきの里の取り組み—



御幸病院顧問  
老人保健施設ばたん園施設長  
江頭 洋祐

### 漢方の力

最近、東京のある大学病院で、抗生物質が効かない多剤耐性菌アシネドバクターの院内感染によって50数名の方が亡くなったとの報道があり、ショックを受けた人が多いと思います。アシネドバクターそのものは私達の周辺の土の上など、どこにでも存在しており、普通の人には感染を起こすことはありません。しかし、免疫の弱った人や癌の手術後、膠原病などでステロイドを大量に使用している人に感染すると、重大な感染症を引き起こし、さらに多剤耐性化すれば生命を脅かすリスクがあります。こんな時、やはり頼りになるのは自分が本来持っている免疫の力です。

漢方には昔から補剤といって人間の健康の三要素である気、血、水のエネルギーを高め、免疫力を増強する薬があります。補剤には補中益気湯、十全大補湯、人參養湯などがあります。その代表である補中益気湯(ほちゅうえききとう)は体力の基になる胃腸の働きを補強して、気(エネルギー)の流れを高め、体全体の免疫を強める効果をもった漢方です。この薬は、別名 医王湯(薬の王様)とも呼ばれ、体力低下や痩せ、食欲不振、慢性肝炎、COPDなどに効果がある薬です。この薬は免疫の指標となるNK(ナチュラルキラー)細胞の数を増やして、免疫力の基本となる自然免疫のレベルを高める実験データが数多く報告されています。

私が診療している高齢の患者さんで、常日頃から補中益気湯をずっと服用していた方が昨年家族全員がインフルエンザで倒れた時に、一人だけ元気で家族の看病や家事を引き受けて頑張ったという話を聞き、今さらながら漢方の力を実感させられました。ご希望の方は御幸病院の外来にご相談下さい。

※受療ご希望の際は予め  
電話で予約をお願いします。  
090-4358-1225



## 8月8日、第22回目となるみゆきの里夏祭りが今年も盛大に開催されました。

当日は午後から何度か激しい通り雨に見舞われ、少々心配な空模様でしたが、夕刻より見事に晴れ上がった夏空に、涼しげな風にも恵まれたためか、見事な快晴だった昨年同様、今年も1,800人余りの方々に来場していただくことができました。

午後6時15分、軽費老人ホーム富貴苑苑長・ケアハウスピオニーガーデン施設長、富島ヨシによる挨拶で、夏祭りの開会が宣言されました。例年通り、最初のプログラムは御幸校区婦人会の皆様と、みゆきの里職員による盆踊りです。今年も地元の御幸保育園より、園児の皆さんが初めてみゆきの里の夏祭りに参加され、音楽に合わせて和太鼓・竹太鼓の演奏を披露されました。こちらは毎年大人気の、こぼと保育園・リズム幼稚園合同での、園児の皆さんによるよさこいソーラン節と共に、お集まりの皆様も大変喜んでおられたようです。

プログラム半ばで、医療法人博光会理事長・富島三貴から主催者挨拶が行われ、衆院・参院の議員の方々や御幸校区社会福祉協

議会の緒方会長ら、来賓の皆様方にも舞台の上でご挨拶を頂きました。その後も、子供空手

教室・拳希会の生徒さん達による空手の演武や、和楽でフラメンコ教室を開いておられる洲上先生率いる「フチ女優倶楽部」のダンスなどが披露され、祭りの会場は大変な盛り上がりを見せていました。

この間、みゆきの里職員の手による夜店も大盛況。焼きそばや地鶏の炭火焼き、フライドポテトなどの食べ物の店や、射的・金魚すくいなどのゲームコーナーは大変な人気で、早々と売り切れの店も出ていました。

会の終わりには、再度御幸校区婦人会の皆様による盆踊りと、御幸病院の吉田院長の閉会の挨拶で一旦締めとなりました。そして最後の最後には、来場者の皆様お待ちかねのお楽しみ抽選会。ステー

ジ前のスペースには驚くほど多くの方々が集めかけられ、富島理事長と吉田院長が当選番号の書かれたくじを引く度に、あちこちから歓声と落胆の音が響いていました。

みゆきの里では、毎年恒例のこの夏祭りを、地域の皆様との得難い交流の場、地域への親善・貢献の機会と捉えております。来年もまた、多くの皆様方にご来場いただけることを、今から職員一同楽しみにしております。



## Doctor's COLUMN ドクターズ コラム 心のこもった、暖かい医療を実践したい



たまのい内科クリニック  
院長

玉野井 優水 先生

たまのい内科クリニック  
〒861-4224  
熊本市城南町安高  
157番地  
TEL:0964-28-1555

城南町を流れる浜戸川沿いには多くの史跡が残っているのですが、その川に「火の君橋」という橋が架かっており、そのすぐ横に当院はあります。松橋町と嘉島町を結ぶ国道が目の前を通っていますので、朝夕の交通の混雑は結構なものです。その向こうには田園風景が広がっています。私自身は熊本大学を卒業後、第一内科・呼吸器内科に入局、最終的に熊本市民病院勤務を経て、平成17年5月に、現在地に開院致しました。気管支喘息・呼吸器感染症、肺癌診療、慢性・急性呼吸不全等の呼吸器疾患を専門領域として診療に従事してきました。外来と往診診療の他、介護保険申請書や紹介状などの書類整理・他病院の先生方との打ち合わせや医師会理事会活動、そして勉強・・・で、毎日が本当にあっという間に過ぎていってしまっています。

開院して良かったことは、患者さん方の健康管理のお手伝いを身近に接してできること、高血圧症、糖尿病、脂質異常症等の生活習慣病診療等、内科疾患全般にわたった幅広い診療を行えることです。臓器別・専門別に特化した高度の医療は是非とも必要です。一方で、患者さん方の時に多岐に渡る訴えを整理していくつかの疾患を絞り込んで行くことはまた、別の意味で大いに専門性を要求される場面でもあります。

今年で、開院して6年目になります。時間の経つのは本

当に早いものです。目指してきたことは、心のこもった、暖かい医療を実践することでした。基幹病院の先生方との連携をとらせていただいて、最良の医療を患者さんに提供できるように、心優しい11名のスタッフに支えられて、日々、頑張っています。時々疲れてしまうこともありまして、その時は好きなドライブに出掛けたり、ゆっくりと本を読んだりしています。家内と二人で「和楽」さんへお邪魔して、温泉でゆっくりとさせて頂いて気分転換を図ることもあります。

当院だけで行える医療には自ずと限界があります。医師会でも地域医療連携チームが組織されていて、私自身もメンバーなのですが、医療連携の重要性はいつも議論されているところです。往診先の患者さんのお宅でも、ご高齢になられた患者さんを、ご高齢の家族の方がお世話をされているケースがとて多く、安心して療養を送れる社会的環境が整備されるまでには、尚も道のりは遠く、いくつもの課題が残っているようです。

患者さん方が安心して治療や療養に専念できるように、整備された医療機関・施設との協力はますます大事になってくることを考えています。富合町に続き、城南町も熊本市との合併で新しくスタートすることになりましたので、これからもお世話になる機会が沢山あるものと思われれます。よろしく願い致します。



## 短期集中連載 御幸病院リハビリテーション室 第2回

このコーナーでは全4回に渡って、御幸病院リハビリテーション室の活動を皆さんにお伝えいたします。  
第2回目となる今回の内容は、「外来リハビリテーション」です。

御幸病院では新館1Fにある総合リハビリテーションセンター(400㎡以上)で、外来患者様のリハビリテーションを実施しています。外来担当スタッフは理学療法士5名、作業療法士4名、言語聴覚士2名、鍼灸マッサージ師1名、リハビリアシスタント5名のスタッフとなっています。

外来診療の主な内容は、疼痛に対して機器を用いた物理療法、鍼灸マッサージ師による按摩マッサージやリフレクソロジーを行い、障害のある方にはNU STEP等のマシンを用いた筋力向上トレーニング、立ち上がり動作や歩行等の回復のための基



本的動作訓練、日常生活動作や生活関連動作の訓練、精神の賦活のための作業療法や失語症や構音障害の言語訓練等、患者様一人一人に応じたリハ

ビリテーション医療を提供しています。特に関節ファシリテーション治療は、関節の動き不良からくる「痛み」・「しびれ」・「筋肉が硬くなる」・「耳鳴り」・「関節が動きにくくなる」など様々な症候に対して治療することで改善ができます。この治療法については、当院の理学療法士が熊本で最先端であり、それを目的に来院される患者様もおられます。

外来患者様には完全予約制をとっており、十分な時間をかけて個別のリハビリテーションを提供しております。また、当院のみならず他院も含めた回復期リハビリテーション病棟を退院され、ご自宅へ戻られた患者様へのフォローをするケースも多くあります。

外来リハビリテーションでは、毎日が笑顔で楽しいと思える雰囲気です。各スタッフが、在宅におられる患者様の充実した生活が送れるようリハビリテーションを提供できるように日々努力をしています。

# 特集 和楽 WAKARU こんなところ!

ウェルネススクエア



Vol.12

### 田園キッチンが「ぴゅあピュア」に登場

ウェルネススクエア和楽内のレストラン「田園キッチン」がTKUテレビの取材を受け、夕方の人気番組「ぴゅあピュア」内で放映されました。

9月16日放映の「ぴゅあピュア」バイキング特集では田園キッチンのバイキングを満喫するレポーターの方に、東島料理長が田園キッチンの料理について開設。また、9月22日放映の同番組「栗特集」では、田園キッチン謹製の栗を使ったスイーツが取り上げられました。

TKU「ぴゅあピュア」では10月6日放映予定の「季節の野菜特集(予定)」でも、田園キッチンを取り上げる予定とのことです。



### BIO SALUTEが「絶品スイーツコンテスト」決勝に進出

去る9月11・12日、グランメッセ(益城町)で開催されたRKK熊本放送のイベント「ロングライフ2010」にて、「くまもと絶品スイーツコンテスト」の二次予選が開催され、蕨町のイタリアンレストラン「BIO SALUTE」が二次予選通過を決めました。

この「くまもと絶品スイーツコンテスト」は、熊本県産の素材を使用した「新しい」スイーツが競い合い、熊本の秋の味覚を代表するスイーツの座を決定するイベントです。これに参加した「BIO SALUTE」は、県内産のオーガニック小麦や栗を使用した「マクロビオティックモンブラン」を出品。一次予選を通過した15店舗と、グランメッセで行われたイベントに出店いたしました。結果、来場者の方の投票により、見事参加店舗中4位にランクイン。10月9日(土)から17日(日)まで熊本城で開催される、「秋のお城まつり」での決勝戦に出場できることになりました。

「絶品スイーツコンテスト」決勝戦は、お城まつり開催期間中の9・10・11日及び16・17日に開催される予定です。





## ■ 今後の行事予定 Event schedule

11月25日 みゆきの里ボランティア交流会



昨年の交流会の様子

## ■ 担当医表 Charge medicine table

	月	火	水	木	金	土
午前	津出 長尾	吉田 江頭	山浦	川野 長尾	吉田	担当医
午後	高木	本田 長尾	高野 和田山	高野 長尾	津出 江頭	

・W研究員の漢方相談…毎週 水曜：午前 木曜：午後 金曜：午前

長尾名誉院長	外科(鍼灸漢方)・健康相談を担当します。
吉田院長	
津出診療部長	
川野内科医長	
本田医師	内科を中心として、種々の診療を担当します。
高野医師	
高木医師	
山浦医師	
和田山医師	整形外科を担当します。
磯貝ホスピス医長	緩和ケア病棟を担当します。
鈴木医師	
江頭医師	呼吸器・アレルギー疾患・心療内科を担当します。
田川医師	歯科を担当します。

- リハビリテーションの担当医：川野、吉田、津出、高木
- 緩和ケア病棟への入院相談 月～土 8:30～17:30(随時)  
相談窓口：医療連携室

## ■ ニュースリリース News release

### 清掃ボランティア

7月29日(木)、みゆきの里周辺の道路沿いのゴミ拾いを行う清掃ボランティア活動が、みゆきの里ボランティアセンターにより行われました。当日は朝早くより、ボランティア



センター員と各施設のボランティア委員がみゆき園ピロティに集合。そのままみゆきの里近くの県道182号線(田迎木原線)まで移動し、およそ100mにわたって、道路沿いの吸い殻や空き缶などのゴミを拾いました。

また8月21日(土)には、熊本中央ライオンズクラブの皆様による清掃ボランティアを、みゆきの里にて実施していただきました。早朝6時半頃より皆様お集まりになられ、熊本中央ライオンズクラブの中村会長のご挨拶の後、会員や職員の皆様やそのご家族様など、約35名の方々に、みゆきの里の各施設周辺の草取りを中心に、清掃活動を行っていただきました。

熊本中央ライオンズクラブの皆様には、今後も毎月1回清掃ボランティアに来ていただく予定になっています。みゆきの里ボランティアセンターでも、地域のゴミ拾い活動を今後も定期的に行っていく予定です。

### 御幸病院のCT機器が新しくなりました

御幸病院にこの度、最新の16列マルチスライスCTスキャナが導入されました。これにより、従来に比べて検査時間が大きく短縮された上、量子フィルタで線量も40%程の低減がなされ、患者様・ご利用者に優しい検査となっています。

特に、らせん状に連続してデータを収集するヘリカルスキャンが可能となり、これまでの機器に比べより広範囲の検査が行えるようになりました。脳出血・脳梗塞・脳腫瘍・頭部外傷から胸部疾患および腹部臓器(肝・胆・膵・腎膀胱・その他)疾患にいたるまで、全身の診断が可能となっています。

CTについてのくわしい内容は、医師または放射線技師へお気軽にお尋ねください。



私たちは、地域の人々、利用者のご家族の幸せを願い、保健・医療・福祉の総合力を発揮して、健康生活のベストパートナーとなることを目指します。



医療法人博光会

## 御幸病院

### 【診療科目】

内科・消化器内科・循環器内科・呼吸器内科・漢方内科・リハビリテーション科・心療内科・アレルギー疾患内科・小児科・歯科・麻酔科(ペインクリニック) [医師：岡崎止雄]

### 【診療受付時間】

平日 午前8時30分～午後5時  
土曜 午前8時30分～午前12時

※但し急患は何時でも受け付けます。



- 緩和ケア病棟：20床
- 一般病棟：30床
- 回復期リハビリテーション病棟：85床
- 医療療養型病床：51床
- 併設：訪問看護ステーション「みゆきの里」

発行/医療法人博光会 御幸病院  
〒861-4172 熊本市御幸苗田6-7-40  
TEL.096-378-1166 FAX.096-378-1762  
メールアドレスinfo@miyukinosato.or.jp  
編集/株式会社 談

詳しくはホームページをご覧ください

<http://www.miyukinosato.or.jp/>